

小学校 社会科

徳島県教育委員会

1

育成すべき資質・能力の三つの柱

主体性・多様性・協働性
学びに活かす力
人間性 など

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

何を知っているか
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を単独でとらえるのではなく、統合的にとらえて構造化することを目指す

I GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の授業においてICTを活用する際のポイント

2

学校におけるICTを活用した学習場面





一人一台端末を活用したい

GIGAスクール構想に基づく社会科授業

- ・ ICT端末は、目標の実現に向かって効果的に活用されているか？
- ・ ICT端末の活用が目的になっていないか？

★単元や本時の目標の実現のための

- ・ 効果的な活用が明確になること
- ・ ICT端末を活用する場面を絞ること
- ・ 具体的な活用のイメージをもつこと

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

グループ協議 I

- ① 授業におけるICT活用事例
＜それぞれの提出課題を参考に＞
- ② 授業でICT活用する際、授業者として気になることの共有、解決策 等

社会科授業は「単元で考える」

- 学びのプロセスを意識して
どの時間に、どのような活動を行うのか
子供の問題解決にとって必要か(必然性)

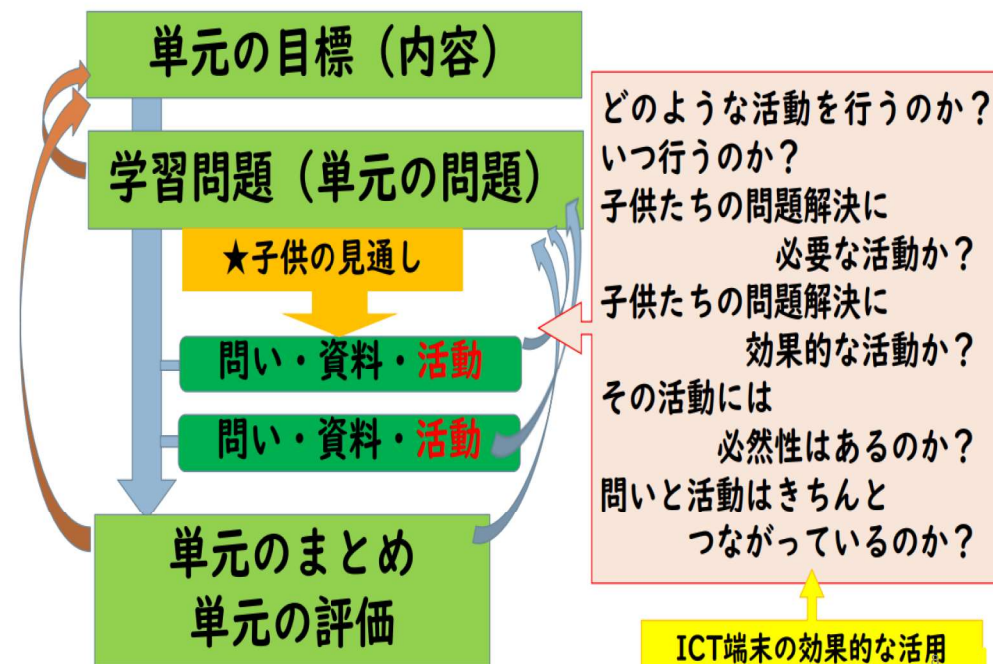
を考える

子供が
社会的事象から問いをもつ。
解決の見通しを立て

問題解決的な学習過程の充実

資料などを活用して調べ、
みんなで話し合ったり、考えたりして
まとめる(解決する)
まとめたことを社会につなげたり、新たな問いにつなげたりする。

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」



【小学校・第3学年・社会科・「わたしたちの市の様子」】

育成を目指す資質・能力

単元の目標の実現のために

身近な地域や市区町村の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして自地図などにまとめ、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

ICT活用のポイント

ICT端末のメリットを考え

子供一人一人が問題意識をもち、問題解決の見通しをもった後、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする際に情報端末を活用することで、学習活動の幅を広げることができる。

単元の学習過程

効果的な場面で活用する

学習問題をつかむ

事例の概要

学習問題を追究する

まとめる

「見学活動で情報端末を活用し、情報を収集する」場面において
各自の問いに合わせて、それぞれの問いに合わせて見学を進め、子供たちは写真機能を使って記録する、録画機能を使って、映像を記録する、映像の中に自分たちの解説を入れる、レポーターをつけてレポート形式の動画を撮る、など様々な活用を保障している。また、ノートへの記録に比べ、いつでも写真を撮ったりインタビューをしたりするなど、情報の収集に専念することができる。
「収集した情報を基に、情報端末を活用して話し合う」場面において
見学・調査後、撮影してきた映像をグループごとにしながら、問いに対する答えや新たな発見をまとめていく。繰り返し再生できるので大切な内容を確認することができる。情報を繰り返し映像で再生確認したり話し合ったりできるので、情報が吟味され調べたことを基に深く考えることにつながる。また、自分たちで収集した画像や映像を基に、わかったことをまとめてわかりやすく伝えたりすることもできる。

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

【小学校・第3学年・社会科・「わたしたちの市の様子」】②

【見学活動でICT端末を活用し、情報を収集する場合】



ある児童は、「市には、古い神社やお寺があるのではない」という問いを基に調べ、ICT端末で撮影する。(情報を収集する)
市の土地利用に着目した児童は、地域の方にインタビューして市の様子についてICT端末で動画撮影する。(情報を収集する)

【収集した情報を基に、ICT端末を活用して話し合う場合】



集めた情報を繰り返し見たり、拡大して見たり、友達と共有したりして、地図で場所を確かめながら、市の様子について話し合う。

【活用したソフトや機能】写真・動画撮影

【写真機能や動画機能で情報を記録する】

各自の問いに合わせて見学を進め、
・写真、動画撮影機能を使って、映像を記録する。
・映像の中に自分たちの解説を入れる。
・レポーターをつけてレポート形式の動画を撮るなど、子供たちは様々な活動を展開できる。

ICT活用のメリット

- 早く効果的に情報収集できる
- 見えにくい情報を見えるようにできる

【収集した情報を基に話し合う】

- ・インタビューの結果を、繰り返し再生し、大切な内容を確認する。
- ・撮影した映像や動画を繰り返し確認する。
- ・画像や映像を繰り返し再生して話し合い、情報を吟味したり、調べたことを基に各自の問いについて考えたりする。
- ・自分たちで収集した画像や映像を基に、自分たちが調べてわかったことをまとめる。

ICT活用のメリット

- 繰り返し再生できる
- 拡大して細部まで映像で確認できる。
- ファイル共有機能による情報共有で、考えを広めたり深めたりできる。

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

【小学校・第4学年・社会科・「廃棄物を処理する事業」】①

育成を目指す資質・能力

単元の目標の実現のために

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図や関係機関が作成した資料などで調べたりして図や文章などにまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。

ICT活用のポイント

ICT端末のメリットを考え

子供が問いに対して、自分の考えをまとめ、友達の考えと関連付けて整理する際にICT端末を活用することで、「自分の考えをまとめる→班で共有する→互いの考えを関連付けたり、整理したりして班の考えをまとめる」学習活動を効率よく行うことができる。

単元の学習過程

効果的な場面で活用する

事例の概要

学習問題をつかむ

学習問題を追究する

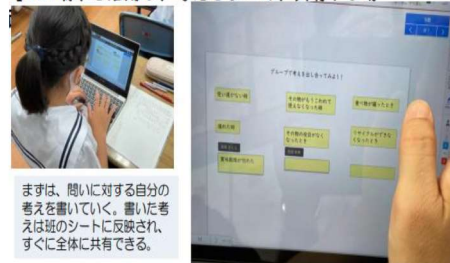
まとめる

- 「互いの考えを共有し、関連付けたり整理したりする」場面において
- ① 問いに対する自分の考えをグループの画面に書き込む。班ごとの画面に各自で書き込んでいくため、書き込んだ考えはすぐに反映され、一人一人の考えが班ですぐに共有される。その結果、共有された友達の考えを参考にしてさらに自分の考えを書き込んだり、班の画面を見ながら、共通点・相違点を見つけたりしていくことができる。
 - ② 共有された考えをグループで自由に動かし、書き込んだり、グルーピングしたりしながら話し合い、互いの考えを関連付ける。関連付けた考えを整理し、キーワードで整理したり、タイトルをつけて整理したりする。操作が容易であるため、子供は話し合いながら、操作し、試行錯誤することができる。(修正、加筆も同様。)また、この班の話し合いシートは学びの記録として保存することができる。
 - ③ 班でまとめたシートは、個々がICT端末で見ることができ、学級全体ですばやく共有化され、それにより互いの考えを確かめたり、自分の考えと比較したりすることで自分の考えを深めることができる。

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

【小学校・第4学年・社会科・「廃棄物を処理する事業」】②

【ICT端末を活用し、考えをまとめ、共有する場】



まずは、問いに対する自分の考えを書いていく。書いた考えは班のシートに反映され、すぐに全体に共有できる。

「壊れた」「使い道がなくなった」など、考えを読みながら、まとめ方を考える。

【共有した考えを基に、ICT端末を活用して関連付けたり整理したりする場合】



互いの考えを自由に動かし付けたりしながら、最終処分場の働きについて「作業の工夫」、「処理できる物」など、調べた互いの考えを関連付けたり整理したりして、班の考えをグルーピングしてまとめる。

【活用したソフトや機能】metamojiclassroom グループ活動シート

【考えをまとめ、共有する場合】

- 共同編集可能なシートを活用することで、
- ・自分の考えを書き、班の仲間に伝え、共有する。
 - ・自分の考えを書きながら、友達の考えを読む。
 - ・友達の考えを参考にしながら、自分の考えを書く。
 - ・互いの考えの共通点・相違点を見つける。
 - ・まとめ方を考える。

ICT活用のメリット

- 自分の考えを他者に伝えることができる。
- すぐに互いの考えを共有することができる。
- 考えの共通点・相違点を見つけることができる。

【互いの考えを関連付けたり整理したりする場合】

- ・互いの考えをグルーピングするなど整理しながら、話し合いを進める。
- ・互いの意見を関連付けて話し合いを進める。
- ・互いの班のまとめを共有できる。
- ・発言が苦手な児童も、意欲的に自分の考えを表現できる。

ICT活用のメリット

- 関連付け、グルーピングなどが容易である。
- 操作しながら話し合いや考えの整理ができる。
- すぐに他班とまとめを共有できる。
- 学びの記録を残すことができる。

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

第3学年(2) 地域に見られる生産や販売の仕事



コロナ禍で地域の スーパーマーケットに 見学に行けない

実際に調査・見学活動が
できないなら・・・



一人1台端末を活用して、
擬似的に行えばいい

A小学校
で行われた
実践

一人一台端末の
効果的な活用

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

場面ごとの効果的な活用例

(1)調べる場面

第四学年(4)「先人の働き」における
調査・見学活動の場面



第三学年(2)「地域に見られる販売の仕事」における
擬似的な調査・見学活動の場面

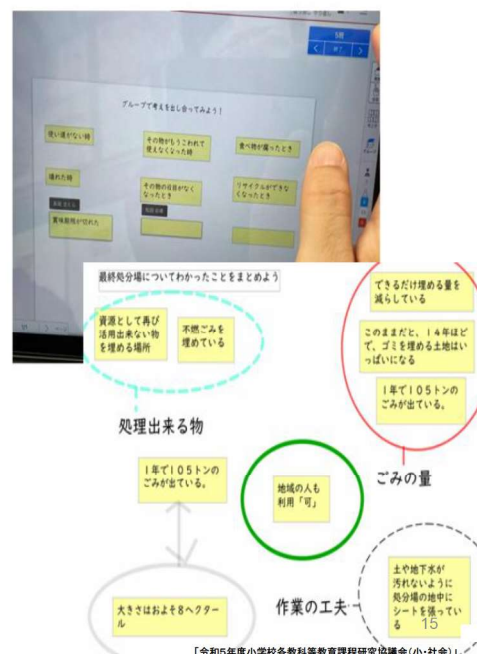


(2)考える場面

第四学年(1)「わたしたちの県の様子」における
自分の考えをもつ場面



第四学年(2)「廃棄物を処理する事業」における
互いの考えを共有し、関連付けたり整理したりする場面



提出課題より

教科等	学年	単元(題材)	目標
社会	4年	徳島県のオリジナル県章を作ろう	それぞれの都道府県章の由来について考えることを通して、各地域への関心や理解を深める。
学習過程[単元(題材)・展開等]			
校内にある中野島小学校の校章を見つける。(全10個)		都道府県の形から作られた	ミライシードのオクリンクを用いて、自分の考えた県章を教師のタブレットに送り、スクリーンに投影しながら、その由来をみんなで話し合った。
都道府県章があることを知り、どこの都道府県章なのかについてのクイズを解く。 ・県の形から作られたもの、他にひらがな、カタカナ、アルファベット、特産物等から作られたものがあることに気付く。		パワーポイントで作った都道府県章についてのクイズを解かせ、その由来にはいろいろなものがあることを視覚的に気付かせる。	
自分で徳島県のオリジナル県章を考える。		数人に、自分の考えた徳島県の県章を、電子黒板にペンを大きく描かせ、何をもとにして作ったかを友達に当ててもらう。	47個の都道府県章を、班ごとに分担して、その由来をインターネットで調べさせた。そして、由来別に仲間分けしたものを全体でまとめた。
自分の作った県章を発表し、何をもとにして作ったかを友達に当ててもらう。		全都道府県章の一覧を見て、その由来をインターネットで調べ、仲間分けをする。	
児童・生徒の学び等	パワーポイントを使って資料を提示することで、視覚優位で特別な支援が必要な児童にとっても分かりやすい内容となった。また、ミライシードのオクリンクを活用することによって、情報の共有や共同作業がしやすくなった。		

提出課題より

部会	学年	単元(題材)	ねらい
社会	5 年	水産業のさかんな地域	iPadアプリ「keynote」や「goodnotes」等の共有機能を活用し、自分の考えをまとめ、全員の考えや記録をもとに発表したり話し合ったりすることによって、協働的な学びへの実践へ繋げる。
学習過程(単元(題材)-展開等)			
○前時に整理・分類し、まとめた取り組みをグループで共有し、水産業の課題と解決するための取り組みを確認する。			※岩本さんとリモートで繋ぎ、工夫や努力、願いなどを聞き取る。※質問などやり取りをしながら話を聞く。
○郡佐湾で「あまべ牡蠣」の養殖を研究している岩本さんとリモートで繋ぎ、工夫や努力、願いなどを聞き取る。			※岩本さんの話を録画し、自分の端末で見直ししながら整理・分類する。※iPadにそのまま書き込む。
○岩本さんの話を録画し、自分の端末で見直ししながら整理・分類する。字幕を付けたり、大事なところを巻き戻して再生したりして、メモを取る。			※グループごとにダブルチャートをミラーリングし、発表した後、全体で話し合いをする。
○ダブルチャートを活用し、それぞれの立場に分けて整理し、グループで話し合う。			※配慮が必要な児童は、別室からリモートで参加した。※共有しているので、自分の意見も反映される。
※写真や図、イラストの著作権や肖像権等の取扱いに御留意ください。			
児童・生徒の学び等	「どの取り組みが大切なのか。」を考え、話し合うことで、協力していくことが大切であるということに気付くことができた。事前に行ったアンケートやインタビューなどによって、自分たちの町の水産業に関心をもち、発展させるためのアイデアを意欲的に考えることができた。		

Ⅱ「社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を通す」社会科授業について

確認したいこと...

○ICTの活用が目的になっていないか？ →目的ではないこと

○単元で育てる資質・能力は、単元の目標であること

○単元でICT端末を活用する場合は、単元や本時の目標の実現のための効果的な活用が明確になっていること

○単元で効果的にICT端末を活用する場面が絞られていること

○場面において、具体的に
効果的な活用のイメージができていていること

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

社会科の目標

(I)目標の改善

小学校社会科は、
社会的事象の見方・考え方を働かせ、
問題解決的な学習を通して、資質・能力の育成を図る

社会的な見方・考え方を働かせ
課題を追究したり解決したりする活動を通して、

小学校・中学校
共通

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。



「社会的な見方・考え方を働かせ」とは

=社会科における見方・考え方を示している

「課題を追究したり解決したりする活動を通して、」とは

=教科の特質に応じた学習活動を示している

= ☆問題解決的な学習

目標：「課題を追究したり解決したりする活動」を通して

※小学校社会科の各学年の目標においては
「学習の問題を追究・解決する活動」と表記

問題解決的な学習過程の充実を図る際には…

主体的・対話的で深い学びを実現するよう
児童が社会的事象から学習問題を見だし、問題
解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追
究結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見
いだしたりする学習過程などを工夫することが考
えられる。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」



私たちがいる社会的事象と出会い、その社会的事象のもつ特色や意味
を捉える時に、「どこを見たらいいのか」「何を見たらいいのか」とい
う着目する「視点」と「どのように考えたらいいのか」という「方法」

○小学校社会科の見方・考え方は、
「社会的事象の見方・考え方」である

位置や空間的な広がり

時期や時間の経過

事象や人々の相互関係などに着目して（視点）、
社会的事象を捉え、
比較・分類したり総合したり、

地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること（方法）

○小学校社会科においては、「社会的事象の見方・考え方」を
働かせ、学ぶことを重視する必要がある

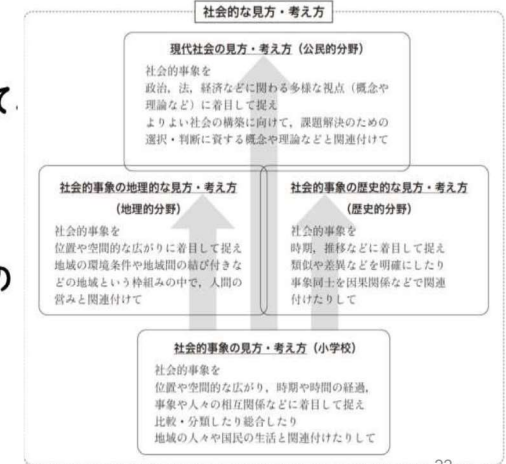
「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」

社会的な見方・考え方とは

社会的な見方・考え方を小・中学校社会科として整理

◎小学校社会科における見方・考え方を
社会的事象の見方・考え方として整理

「社会的な見方・考え方」は、
小学校社会科、中学校社会科において、
社会的事象の意味や意義、
特色や相互の関連を考察したり
社会に見られる課題を把握して、
その解決に向けて構想したりする際の
「視点や方法（考え方）」
であると考えられる。



「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」

社会的な見方・考え方は、資質・能力ではなく
資質・能力【(1)(2)(3)三つの柱】全体にかかわるもの

あくまでも・・・

社会的事象の特色や意味などを考える
社会に見られる課題を把握して、
社会への関わり方を選択・判断する

ために、

子供たちが「働かせるもの」

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」



「社会的事象の見方・考え方」と「問い」の関係

子供たちの資質・能力の育成のためには、授業改善が必要である。
授業改善には、「見方・考え方」を働かせることが重要である。
「見方・考え方」を働かせるためには、「問い」の設定が必要である。

一人一人の子供に、これからの時代に求められる資質・能力を育成

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進

深い学びの鍵としての
「見方・考え方」を働かせることが重要

問いの
重要性

「見方・考え方」を働かせる
「問い」の設定が不可欠
「社会的事象の見方・考え方」を用いた考察、構想や、
説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追究
したり解決したりする活動が不可欠である。

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

学習指導要領（小学校 社会）、解説 を読むと その単元で働かせる 社会的事象の見方・考え方がわかる

小学校社会科の学習

社会的事象の見方・考え方を働かせ、
問題解決的な学習を通して、
資質・能力の育成を図る

POINTは

「〇〇に着目して問いを設けて調べ、
〇〇と〇〇を比較・分類・総合、関連付けて考える」

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

「社会的な見方・考え方を働かせる」とは、

「視点や方法」を用いて課題を追究したり解決したりする学び方を表す

小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説社会編p.18,19例示

(位置や空間的な広がり)などを問う視点から、

(時期や時間の経過)などを問う視点から、

(事象や人々の相互関係)などを問う視点から、

それぞれ問いを設定して、

社会的事象について調べて、

その様子や現状などを捉えること

どのような違いや共通点があるかなどと、

比較・分類したり総合したり、

どのような役割を果たしているかなどと、

地域の人々や国民の生活と関連付けたりする方法で、

考えたり選択・判断したりすること

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

グループ協議Ⅱ

はたらく人とわたしたちの暮らし(3年生)
(スーパーマーケットではたらく人)<例>

- ① 見方に着目した「問い」の作成
- ② 「問い」の考え方について
- ③ 見方・考え方を働かせた問題解決的な授業をどのように取り入れるかについて

※学習指導要領を読むとわかる

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

イの(イ)の消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現するとは、
社会的事象の見方・考え方を働かせ、販売に携わっている人々の仕事の様子について、例えば、消費者はどのようなことを願って買い物をしているか、商店の人は消費者の願いに応え売り上げを高めるためにどのような工夫をしているか、商品や客はどこから来ているかなどの問いを設けて調べたり、販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することである。

〇〇に着目して問いを設けて調べたり

〇と〇を関連付けて考えたり

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

「社会的事象の見方・考え方を働かせ」に関しても、
学習指導要領をまず読んでつかみたい

「〇〇に着目して問いを設けて調べ、
〇〇と〇〇を比較・分類・総合・関連付けして考える」

学習指導要領の記載事項 「〇〇に着目して」	解説の記載事項・問いの例 「例えば、〇〇などの問いを設けて」
消費者の願いに着目して	「消費者はどのようなことを願って 買い物をしているか」
販売の仕方に着目して	「商店の人は消費者の願いに応え売り上げを 高めるためにどのような工夫をしているか」
地域や外国との関わりに 着目して	「商品や客はどこから来ているか」

解説の記載事項例「〇〇と〇〇を比較・分類・総合・関連付けして考える」

販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考える

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」



単元を通した授業デザイン(単元構想)

単元等で

単元で考える

どのような視点や方法(見方・考え方)を 学習指導要領を読む
働かせることが大切か考え、

教材の開発・吟味、分析を行い、

(見方・考え方を)問いや資料、学習活動などに 見方・考え方と問い 等
潜ませるように計画することで

子どもが見方・考え方を自ら働かせて
社会的事象の意味を考えていくように

教師が意図的に授業をデザインすることが重要

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

古くから残る建造物の分布

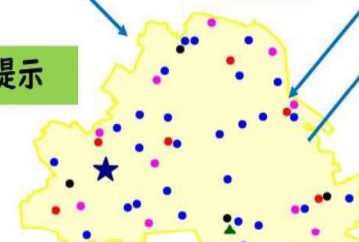
視点

「どこに、
どのようなものがあるだろう」
「どのように広がっているだろう」

問い

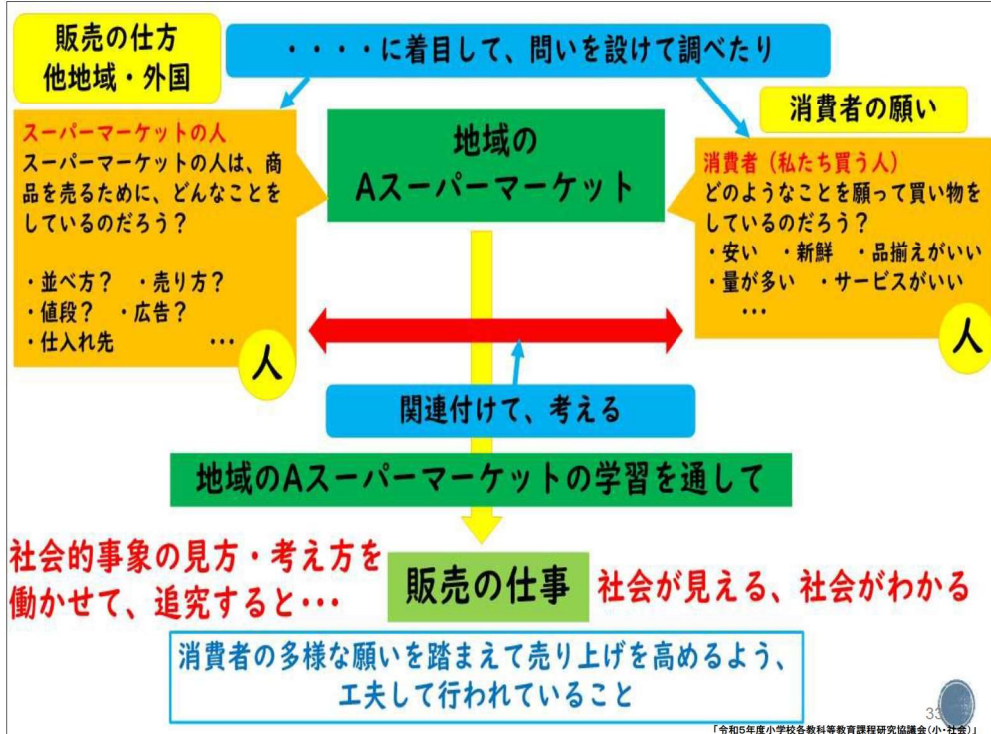


資料を提示



○どのような視点や方法(見方・考え方)を働かせることが大切か考え
「古くから残る建造物の分布」に着目して、問いを設けて調べ…(分布：視点)
○問いや資料、学習活動などに潜ませるように計画することで
「分布」に着目できる資料を提示して、
例えば「どこに、どのようなものがあるだろう」などと問えば…
○子供が社会的事象の見方・考え方を自ら働かせて
社会的事象の意味を考えていくようになるのではないか

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」



Point①

学習指導要領の内容の中で、
いくつかの単元を含んでいるものについて、
同じ社会的事象の見方・考え方を働かせて問題解決を図るものを
読み取る。

第3学年(3)「地域の安全を守る働き」…警察署と消防署
第4学年内容(5)「県内の特色ある地域の様子」…県内の3つの地域
第5学年内容(2)「我が国の農業や水産業における食料生産」…稲作、水産物等

「社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせる」



前単元を本単元で生かしたい
既習を生かして単元をつくりたい

「社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせる」
ために意図的な単元デザインをする

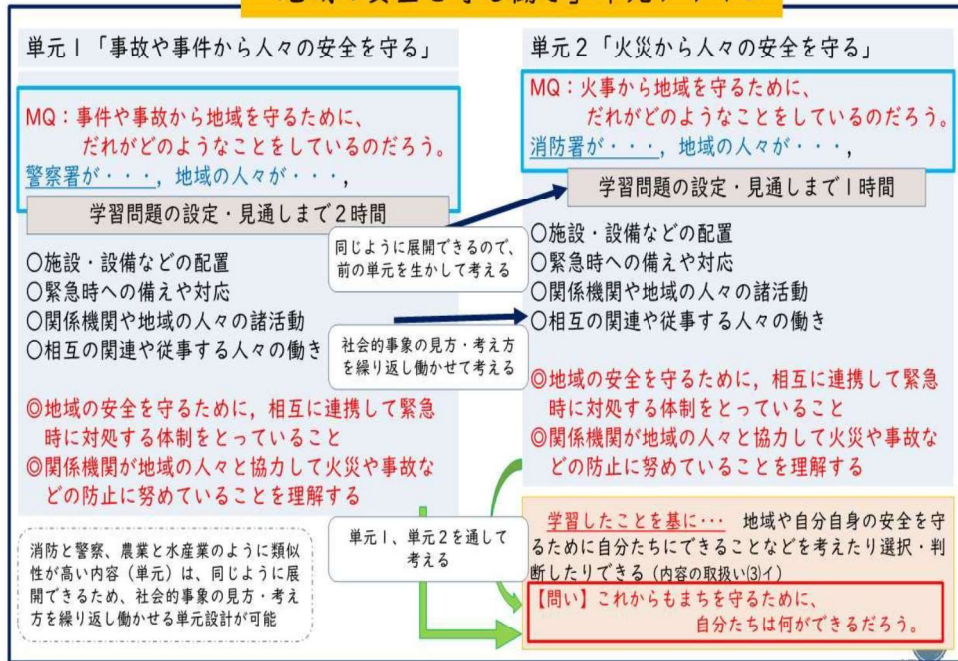
くり返し社会的事象の見方・考え方を働かせるように単元デザインしていくことで、子供たちの中で社会的事象の見方・考え方が鍛えられ、他の社会的事象出合ったときに、これまで身に着けた視点と方法で追究を図っていくことになるものと考える。

【第3学年(3)「地域の安全を守る働き」】 Point①に関して

消防署でも警察署でも、同じ社会的事象の見方・考え方を働かせて問題解決を図る
消防署でも警察署でも、理解することは同じ（消防署と警察署で）

着目して	問いの例
施設・設備などの配置	どこにどのような施設・設備があるか
緊急時への備えや対応	どのように連携・協力して火災や事故などの発生に備えたり対応したりしているか
比較・分類・総合・関連付けして考える例	
諸活動と人々の生活を関連付けて（関係機関の働きを）考える	
(ア)	消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する

「地域の安全を守る働き」単元デザイン



「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」

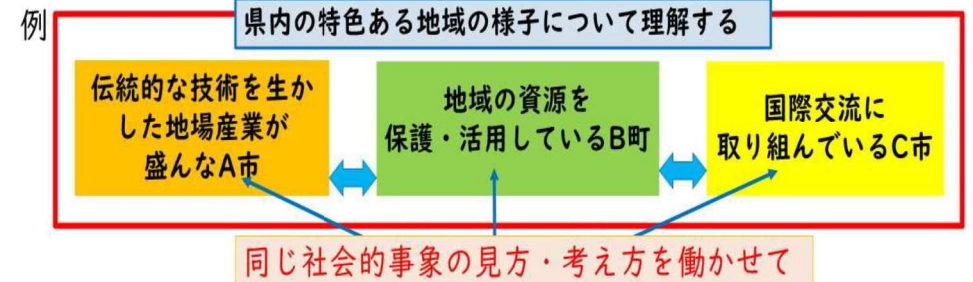


子供の主体的な学びを展開するためには

子供の学びをつなげることが大切

子供が社会的事象の見方・考え方を繰り返し働かせる

単元デザインにすることが大切



特色ある地域の位置・自然環境・人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係
などに着目して、
特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、
自分たちの住む地域と比較したりして、

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」

Point②

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編P.150,151

「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」を参考に、
類似した内容や内容同士の関係性、内容の系統性などを読み取る。

第3学年(1)「市の様子」と第4学年(1)「県の様子」

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」

小・中学校社会科における内容の枠組みと対象

Point②に関して

枠組み	地理的環境と人々の生活	現代社会
対象	地域	日本
3年	身近な地域や市の様子	我が国が世界に占める位置
4年	県の様子	我が国が世界に占める位置
5年	我が国の国土の様子と国民生活	我が国が世界に占める位置
6年	我が国の国土の様子と国民生活	我が国が世界に占める位置

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
社会編P.150,151「小・中学校社会科にお
ける内容の枠組みと対象」を読む
第3学年「市の様子」と第4学年「県の様
子」を例に考えてみる

第3学年と第4学年で学年は違いますが、同じ
「地理的環境と人々の生活」に区分され、その
中でも「地域」に区分される内容
内容が類似し、単元展開が似てくることが考え
られる

枠組み	地理的環境と人々の生活
対象	地域
3年	(1) 身近な地域や市の様子
4年	(1) 県の様子
5年	(1) 我が国の国土の様子と国民生活
6年	(1) 我が国の国土の様子と国民生活

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会（小・社会）」

【第3学年(1)「身近な地域や市区町村の様子」】

着目して	問いの例
市の位置	市はどこに位置しているか
市の地形	(どのような様子か)
土地利用	どのように利用されているか
交通の広がり	どのように広がっているか
公共施設の場所と働き	(どこにあるか) (どのような働きをしているか)
建造物の分布	どのように広がっているか (どこに、どのようなものがあるか)
比較・分類・総合・関連付けして考える例	
場所ごとの様子を比較して違いを考える	

【第4学年(1)「都道府県の様子」】

着目して	問いの例
県の位置	自分たちの県は日本のどこに位置しているか
県全体の地形	どのような地形が見られるか
主な産業の分布	主な産業はどこに分布しているか
交通網	交通網はどのように広がっているか
主な都市の位置	主な都市はどこに位置しているか
比較・分類・総合・関連付けして考える例	
総合して県の地理的環境の特色を考える	

「令和5年度小学校各教科等教育課程研究協議会(小・社会)」

まとめ

- ① 社会科におけるICTの活用
- ② 社会的事象の見方・考え方を働かすとは？
- ③ 問題解決的な学習とは？